



| | |
|------|-----------------------------|
| 移住者名 | 加藤 太朗 |
| 都道府県 | 東京都 |
| 移住先 | 東京都小平市 ⇒ 八丈島 |
| 移住年 | 2016年 |
| 職業 | 航海士 ⇒ 民宿経営 ダイビングインストラクター |
| 家族構成 | 本人・妻・子1人 |
| 移住形態 | Uターン |

Q. 移住したきっかけは？

八丈島で生まれ育った私は、ずっと、早く島の外で生活してみたいという希望をもっていました。中学校卒業後は、希望通り島外の高校に進学、生活を始めてまず感じたのが、空気が澁んでる・新鮮な魚が食べられない・静かな場所がない、などなど。島で生活していた時には、あることが当たり前すぎて気にも留めていなかったことばかりでした。

その後、たくさんの刺激や出会いを経験しながら大学・社会人と都内で生活を続けていくなかで、いずれこの経験を地元で活かしたいという思いが強くなっていきました。

社会人3年目を迎えたころ、このまま地元が過疎化してしまうのは惜しい、都会で得た刺激や出会いを活かしながら生まれ育った実家で営む民宿を継ぎたい、八丈島の良さをたくさんの人に伝えたいと決意し、地元に戻りました。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

私にとっては地元でしたので特に不安に感じたことはありませんでした。

しかし、一緒に地元に来てくれる妻のことが心配でした。都会暮らししかしたことのない妻。八丈島には当然、コンビニやファストフード店などはありません。今はネットでなんでも手に入る時代ですが、都会に比べれば不便なことには変わりません。それに自然豊かな分、虫が多い（妻は虫嫌い）。友人も0の状態です。島での生活に馴染んでくれるかどうか最大不安でした。

Q. 移住して良かったことは？

家族との時間が多くとれるようになったことです。戻る前の生活では、ほとんど家族という時間はとることができませんでした。

息子も生まれ、のびのびと大自然の中で成長を見守ることができるのは本当に嬉しいことです。息子もいずれは島を出て都会で忙しい生活を送ることになるでしょう。でも、子供の頃くらい島という環境でしか経験できないようなことをたくさん教えてあげたいです。

あとは、満天の星空や朝日、夕日などを当たり前のように見ることができることです。どんな時もこの景色を見るだけで心を落ち着かせることができるんです。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

まずは、足を踏み入れてみることです。

私の場合はUターンでしたがIターン、Jターンの方が圧倒的に多いはず。何もわからない場所に足を踏み入れることは勇気のいることですが、そんな大きな勇気は必要ないと思います。

とにかく八丈島に来てみて、いろんなところを見てみましょう。何度か来てもらえれば八丈島のいいところ、大変なところが見えてくるはず。その上で移住を決意してもらえたのなら、「ちょっと八丈島での生活を経験してみよう」、それくらいの気持ちで来てみてはいかがでしょうか。